



参加無料

当日はおぜんざいを
お配りいたします。

無くなり次第終了となります
ので、予めご容赦下さいませ。

お寺 文字 写経 2018

一文 字 写 経

十一月二日(金) 安養寺

十七時三十分〜二十時三十分

恵心僧都源信の遺徳を偲びます。

十一月三日(土) 西光寺

十七時三十分〜二十時三十分

妙心寺 長谷川晃雄御住職による揮毫開催!

お釈迦様が説かれたお経典は、人が生きていく上での苦しみや迷い(煩惱)から、悟り(極楽)への道を説かれたものです。その経典の中でも最も一般に親しまれている般若心経は600巻にも及ぶ大般若経の神髄をたった276文字に表しています。新京極の一文字写経は2日間をかけて、この276文字を一人一文ずつ書き込み、276人の思いを込めて一巻の般若心経を完成させ、お寺に納経し、後日に心願成就の折願法要も致します。

安養寺(倒蓮華寺)

浄土宗西山禅林寺派に属する寺である。由緒はきわめて古く、寛仁2年(1018)恵心僧都が奈良県富麻(たいま)に建てた蓮台院が当寺の起りこり、ついで恵心の妹安養尼が居住して安養寺と改名し恵心の妹安養尼が居住して安養寺と改名した。天永年間(1110頃)隆運(りゅうせん)が京都に移し、鎌倉時代に入って証仏(しょうぶつ)が大いに寺運をひろめた。天正年間(1580頃)豊臣秀吉によってこの地に移された。本尊は阿弥陀如来立像で、八枚の蓮華を逆さに置いた上に立っているのが特徴で、このことから倒蓮華寺と呼ばれる。伝説によれば、本尊をつくる際、蓮座がどうしても壊れるので、蓮華を逆さにしたところ、無事完成した。これは女人は業が深く、心の蓮華はさかさまとなっていて極楽往生できないので、これを救済するため、わざと蓮華を逆さにしたのだといわれる。この本尊にまつわる伝説によって、昔から特に女性の信仰が深い。
中京区新京極蛸薬師下る東側町



西光寺(寅(虎)薬師)

浄土宗西山深草派。山号北亀山。本尊阿弥陀如来。弘安年間(1278~1288)後宇多天皇から下賜され、寅薬師と称した薬師如来を安置するため、御倉堂を建立したのが始まりと伝わる。この薬師如来は弘法大師が一刀三礼し刻んだもので、寅の日の寅の刻に完成した事から、その名がついたという。元来は宮中に持仏として安置され、歴代の天皇の信仰を集めたという。お堂は1788(天明8)と1864年(元治元)に焼失、翌1865年(元治2)に再建されたが、明治44年三度焼失し、大正2年に再建。仮建築のまま現在に至る。寅薬師は京都十二薬師の第11番で、近世の名薬師の一つに数えられた。寅年生まれの守護佛としてだけでなく、広く開運繁栄、無病息災などの諸願成就の靈験あらたかである。堂内には別に安産守護の腹帯地藏尊像も安置されており、腹帯を授与している(要予約)。この地藏尊も近世の京都名地藏二十一地蔵の一つに数えられ、洛陽四十八願所の第34番でもある。



お問合せ先 ● 新京極商店街振興組合 京都市中京区新京極通蛸薬師下る東側町507 れんげビル3F
TEL.075-223-2426(月~金10:00~17:00)

<http://www.shinkyogoku.or.jp/>